令和5年5月発行

地域おこし協力隊通信

丹波山村
地域おこし協力隊

新しい隊員を紹介します！　vol.09

協力隊員3人
インターン1人 計4人に委嘱

この春、丹波山村地域おこし協力隊に加わった隊員３人、インターン１人をご紹介します。いずれも各分野で活躍してきた方々です。
令和5年度 丹波山村地域おこし協力隊の委嘱式と全体ミーティングを４月３日に行いました。新隊員も迎え、隊員１８人、インターン１人の計１９人でスタートしました。今年度も地域おこし協力隊をよろしくお願いします。

新隊員への質問　○丹波山村を選んだ理由　○今後挑戦してみたいこと　○村民の皆様へのメッセージ

（しもむら　かえ）
下村佳恵

私は協力隊として丹波小の2年生と3年生の学習補助員を務めています。公文式やインターナショナルスクールの先生の仕事をしていました。母親として、そして教育者として母子の関係を見つめ直し、より良い環境の中で子供のペースに合わせた教育が出来ると信じています。

今でも日々忙しい毎日ですが、教員免許をとって全力で子どもたちに寄り添えるように努めてまいります。

音楽が好きです、特にJAZZ。バンドを組んだ経験もあります。現在JAZZフルートも練習中。子供たちや村民の皆様と音楽を通じた交流ができればと考えています。

（たしろ　けんたろう）
田代 健太郎

私は東京や横浜で保育士をしていました。いつか自分の大好きな山と関わる仕事もしてみたいと思うようになり、三条の湯の協力隊員募集に応募しました。

三条の湯での業務は山小屋に宿泊する登山者へのサービスはもちろん、登山道の整備、温泉設備のメンテナンスと多岐に渡ります。登山者の皆さんが安心して利用できるよう努めて参ります。

新緑の季節を迎えるハイシーズンは、あまり丹波に下りて来れません。
ですので、村でお会い出来る機会が少ないと思いますが、丹波山村の宝の一つである三条の湯を皆さんに安心してご利用頂けるよう頑張ります。

東京の水源に料理人としての縁を感じた

村外のお客様に魅力を感じてもらえるような丹波山産のジビエや野菜を使った料理を提案すること。また、同世代や若い世代の料理人に考案したジビエの料理法を伝え、丹波山産ジビエの魅力を発信したいです。いずれは、若手料理人が活躍出来る場を丹波山に作りたいと考えています。

ほしの よしひと
星野 允人

東京産の野菜をテーマにしたレストランのシェフをしていました。丹波山のジビエの味に惹かれやってきました。

現在は午後4時までの営業ですが、今後はディナーもやりたいと思っています。
村民の皆様にも楽しんでいただける料理と、くつろぎの時間をご提供したいです。
どうぞ、お楽しみに！

魅力ある地域をより多くの人に伝えたい

地域おこし協力隊員の活動取材とその活動内容を村内外の皆様に知ってもらうことに注力します。村の就労人口の中でも決して少なくはない協力隊員が具体的にどんな活動をし、これから何を目指していくかを紹介していきます。

丹波山での生活もようやく慣れはじめました。しかし、まだ知らないことばかり。道行く人に「それなんですか？」といきなり話しかけてしまうかも知れません。どうかそんな時は教えて下さると嬉しいです。暮らしの中に息づく丹波山の魅力を一つ一つ丁寧に発信していきたいと思います。

はつた　のぼる
初田　登

私は神奈川県横浜市の出身でECサイト(ネット通販)の仕事をしています。現在は丹波山村と横浜の二拠点生活。協力隊員としての活動は、移住者を増やす為のPR活動のライターをしています。

取材・編集　初田　登